

チームかまいしの連携手法と 薬剤師会及びリハ士会の取組み

一次から三次の階層構造でコーディネートするチームかまいしと
連携推進協力者であり連携当事者としての職能団体の活動と相互作用

平成27年3月1日

釜石薬剤師会 理事 中田義仁
釜石リハ士会 事務局 菅原 章
在宅医療連携拠点チームかまいし
連携コーディネーター 小田島史恵

釜石市の概要

◆三陸復興国立公園のほぼ中央に位置し、
鉄と魚のまちとして知られる。

◆歴史

- 三陸大津波(M29、S8)、チリ地震津波(S35)、
十勝沖地震津波(S43)
- 昭和12年:釜石市誕生
- 昭和20年:艦砲射撃
- 昭和30年:1市4村合併で現在の釜石市となる
- 昭和38年:人口92,123人
- 昭和60年:新日鉄ラグビー部V7、第二高炉休止
- 平成元年:第一高炉休止
- 平成19年:釜石市民病院統廃合(閉院)
- 平成23年:東日本大震災

◆地域性(?)

不撓不屈 撓まず屈せず



岩手県の二次医療圏



◆釜石市

面積 441.32K m^2
人口 36,569人
高齢化率 35.3%

◆大槌町

面積 200.59K m^2
人口 12,607人
高齢化率 32.9%

(H26.8月末現在)

釜石医療圏

釜石市・大槌町
人口 49,203人
高齢化率 34.7%

釜石医療圏 在宅医療連携のフェーズ

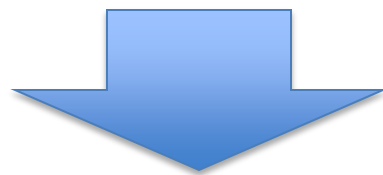
	Phase 0	Phase I	Phase II	Phase III	Phase IV
連携コーディネート拠点	個別	在宅医療専門医療機関	医師会	医師会と行政	行政 > 医師会
主な出来事		釜石市民病院に在宅療養科開設 (11.4) 釜石市民病院閉院(19.3)	在宅医療連携体制検討会スタート(19.6) 市役所・地域医療連携推進室設置(20.6)	在宅医療連携拠点チームかまいし設置	地域支援事業による拠点運営(予定)
期間	～ H11年3月	H11年4月 ～H19年3月	H19年4月 ～H24年6月	H24年7月 ～平成28年3月	平成28年4月 ～

地域医療崩壊の危機に直面、そして・・・

平成19年3月：県立釜石病院との合併による釜石市民病院の閉院

急性期病院の『合併』による県立釜石病院の疲弊

地域医療崩壊の危機に直面



地域医療全体におけるベースコンセンサス

「県立釜石病院を守る」

- 地域で共有された連携のモチベーション
- 在宅医療も県立釜石病院を守るために何ができるかという視点から役割を分担されている。

Phase II (平成19年4月～24年6月)

連携拠点：釜石医師会

- 平成14年：釜石医師会介護在宅診療部会設立
- 平成19年6月：釜石・大槌地域在宅医療連携体制検討会がスタート
 - 急性期病院の統合による県立釜石病院の医療機能の確保、負担軽減を目的に多職種の役割分担の明確化と連携体制の構築が**医師会主導**で進められた。
- 平成20年6月：市健康推進課に**地域医療連携推進室**設置
- 平成23年3月：東日本大震災
 - 釜石市災害対策本部医療班

Phase II (平成19年6月～現在) 釜石大槌地域在宅医療連携体制検討会



多職種参加型会議

<機能>

- ・役割分担の明確化
- ・顔の見える関係の構築
- ・各職種の課題の抽出
- ・**コンセンサスの形成**

課題

課題解決のための
現場レベルでの
連携プロジェクトが進
まない

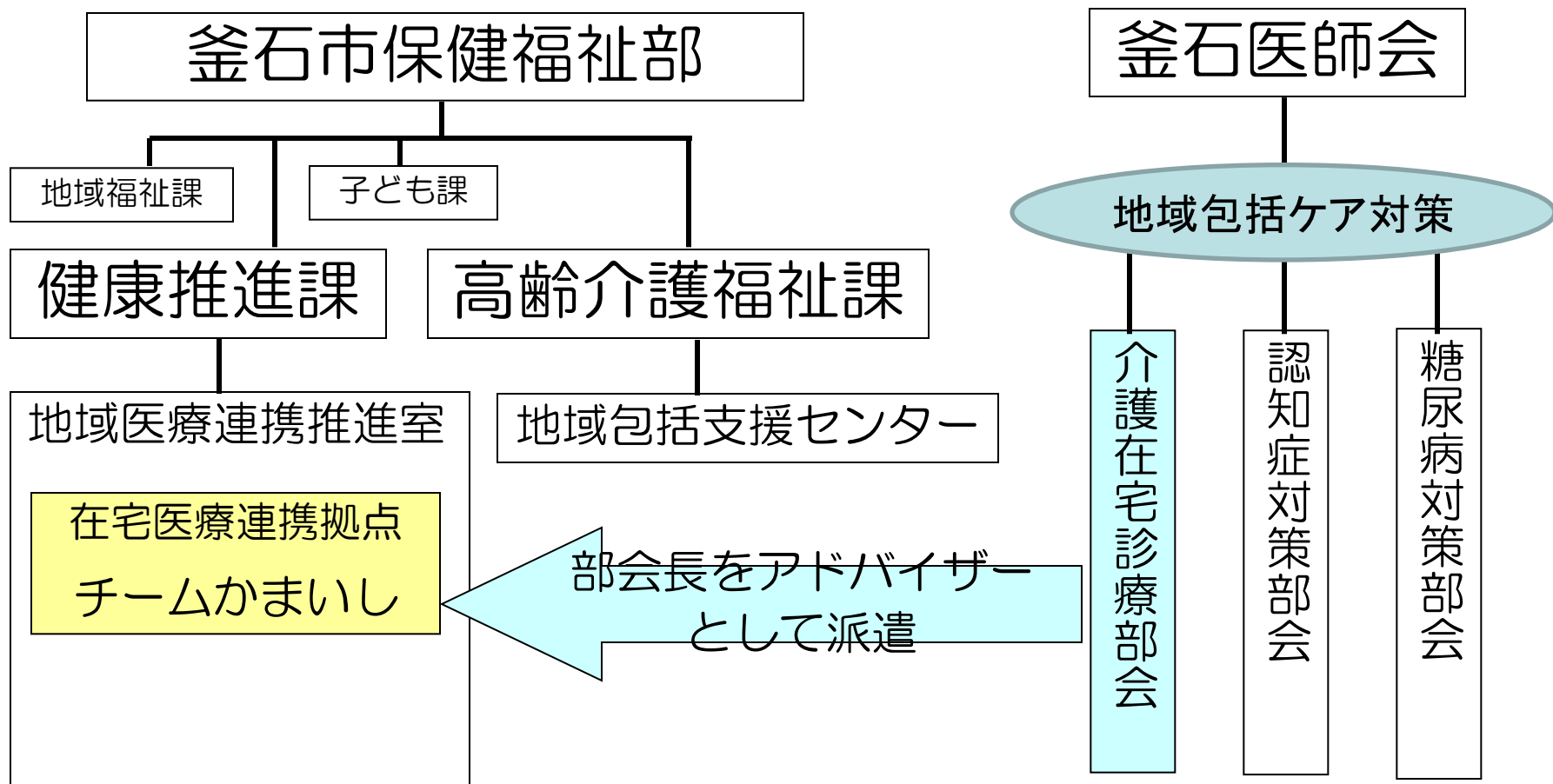
PhaseⅢ（平成24年7月～現在） 連携拠点：チームかまいし（医師会+行政）

◆平成24年7月1日 釜石医師会との連携により
「在宅医療連携推進拠点チームかまいし」を設置

- ▶ 地域医療・介護連携の専門部署として、**医療連携部**
局に設置 ※介護部局ではない
- ▶ 医師会派遣のアドバイザー配置
- ▶ 連携コーディネーター配置



チームかまいし関連組織図



チームかまいしの連携コーディネート

◆ **一次連携** (連携拠点と一職種による連携) ※連携の基盤

課題の抽出と解決策の検討・実践

職種内の気づきと課題の共有の促進

⇒ 連携拠点が職種内課題解決のための取組みを支援

◆ **二次連携** (連携拠点が仲介する複数職種の連携)

一次連携のニーズをマッチングすることで連携構築を支援

⇒ 医科歯科同行訪問研修、多職種合同研修会等を実施

課題の抽出と解決策の検討・実践

◆ **三次連携** 地域全体のコンセンサス形成の場

《一次連携》 職能団体との打ち合わせ会

チームかまいしと一職種による打ち合わせ会の開催

歯科医師会と



薬剤師会と



病院連携室と



ケアマネ協議会と



リハ士会と



「釜石リハ士会」の設立を支援

訪看ステーションと



《一次連携》ポイント&効果

【ポイント】

➤ 会議ではない

- 雑談も交えつつ、ざっくばらんに職種特有の事情が話せるように何度でも
- 具体的なケースについて相談・意見交換することもあり

➤ 職能団体という単位にこだわりあり

- 連携に熱心な事業者単位では、連携が広がらない。公平でない。
- 出席者は情報(課題・解決策案)を団体にフィードバック
- 一職種に絞ることで、他職種の目を憚らず発言しやすい

【効果】

➤ 職能団体自らが課題に気が付く

- 課題の多くは自らの職種、団体、職場にあることが判明

➤ 必然的に職能団体自らが解決策を検討

- 研修会開催など、チームかまいしが支援

一次連携で抽出された課題解決のための 職能団体主催研修への支援・協力

【平成25年度】

- ・チームかまいし医科歯科連携推進セミナー
- ・釜石リハ士会主催多職種対象研修会
- ・釜石薬剤師会主催多職種研修会
- ・釜石三師会主催学術講演会

【平成26年度】

- ・釜石医師会学術講演会
- ・釜石広域介護支援専門員連絡協議会主催研修会
- ・釜石薬剤師会主催多職種研修会



《二次連携》 連携拠点が仲介する複数職種による連携

【実績】

平成25～26年度医科歯科同行訪問研修

平成25～26年度医科薬科同行訪問研修

平成25年度ケアマネジャー＆薬剤師合同研修会

平成26年度病院連携室＆ケアマネジャー意見交換会



《二次連携》医科歯科連携の成果物 在宅療養患者の歯科紹介システム

訪問歯科診療に関する医科歯科連携フロー

医師が患者宅を訪問する

- ◆ 患者が歯科治療を希望している
- ◆ 歯科治療を要する患者であると思われる(医師の判断)

「かかりつけ歯科医」か
「患者が希望する歯科医」
につなぐ

訪問開始

訪問不可

「釜石歯科医師会チームか
まいし連携委員会」につなぐ

医療連携参加の意思が
ある会員につなぐ

かかりつけ歯科医の決定
→ 訪問開始



かかりつけ歯科医なし

訪問不可

《三次連携》 多職種が一同に会する機会

- ◆釜石市在宅医療連携拠点事業推進協議会
- ◆釜石・大槌地域在宅医療連携体制検討会



顔の見える関係
づくり

医療・介護
連携に関する
コンセンサス
形成の場



その他の取組み

- ◆地域の医療・介護サービス資源の把握と周知
- ◆一般向け・多職種向け相談窓口の設置
- ◆関係職種を対象とした主催研修の実施
- ◆在宅医療・介護サービス等の情報の共有支援

かまいし・おおつち医療情報ネットをワーク(OKはまゆりネット)

- ◆多職種関係者向け拠点活動等の周知

ホームページ&ブログの開設と運用
地域連携だより「face to face」の発行

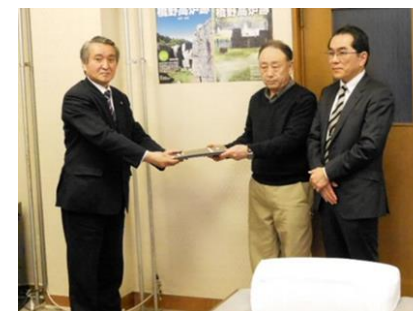
- ◆一般向け在宅医療普及啓発

在宅医療普及啓発冊子の発行、出前講座の実施、市民公開講座

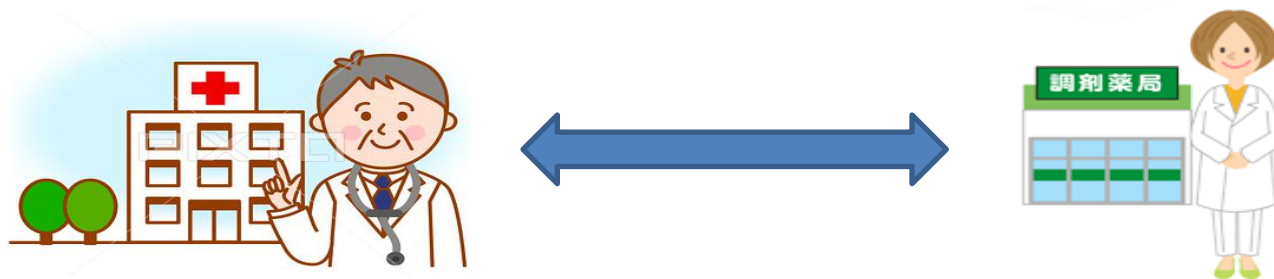
- ◆復興を内包した地域包括ケアのまちづくり

復興事業
ができれば

平成26年4月釜石市地域包括ケア本部設置



啓けること



チームかまいしの連携手法で、線の繋がりにから、面へ広がりつつある。



「チームかまいし」との打合せ(第1～3回)より

チームかまいしの連携コーディネート

医師と薬剤師、病院薬剤師と薬局薬剤師、お互いに理解不足

《在宅医》
そろそろ
専門分野は専門
職種におまかせ
したいなあ

《薬剤師》
訪問の必要性は
わかるけど、
訪問のきっかけが
つかめない…等

②

①

①

一次連携で抽出された課題



《在宅医療連携拠点》
ニーズのマッチングによる
連携コーディネート
医科薬科同行訪問実施へ



ケアマネの
顔が分からない。

病院薬剤師と
薬局薬剤師の連携

どこに相談
すればよいの？

「訪問指示」の
処方箋が来ない

ケアカンファレンス
に呼ばれない

薬剤師の職能が
認知されていない



釜石薬剤師会平成24年度活動内容

【協議会】

- ① 釜石市在宅医療連携拠点事業推進協議会
- ② 第1回釜石・大槌地域在宅医療連携体制検討会
- ③ 第2回釜石・大槌地域在宅医療連携体制検討会兼地域包括ケアを考える懇話会
- ④ 「チームかまいし」医科薬科連携打合せ会 第1回
- ⑤ 「チームかまいし」医科薬科連携打合せ会 第2回
- ⑥ 「チームかまいし」医科薬科連携打合せ会 第3回

1次連携



釜石薬剤師会平成25年度活動内容

【協議会】

- ① 釜石市在宅医療連携拠点事業推進協議会
- ② 「チームかまいし」医科薬科連携打合せ会 第4回
- ③ 「チームかまいし」医科薬科連携打合せ会 第5回
- ④ 釜石・大槌地域医療連携体制検討会兼地域包括ケアを考える懇親会

1次連携

釜石薬剤師会平成25年度活動内容

【研修会】

- ① 釜石薬剤師会在宅医療推進部研修会
- ② 「チームかまいし」地域医療推進フォーラム
- ③ 「チームかまいし」多職種対象研修会 リハ士会主催
- ④ 医科薬科連携在宅医療同行訪問
10月17日、11月28日、12月12日
- ⑤ 医科薬科連携在宅医療同行訪問報告会
- ⑥ 釜石薬剤師会研修会(多職種に案内)
- ⑦ 三師会合同研修会 医歯薬連携について
- ⑧ 釜石薬剤師会、ケアマネ協会合同研修会

2次連携

釜石薬剤師会平成26年度活動内容

【協議会】

- ① チームかまいし地域包括ケア推進フォーラム
- ② 釜石市在宅医療連携拠点事業推進協議会
- ③ 釜石・大槌地区在宅医療連携体制検討会
- ④ 「チームかまいし」医科薬科連会打合せ会 第6回 1次連携

【研修会】

- ① 第7回、第13回釜石医師会学術講演会
 - ② 釜石薬剤師会在宅医療部会研修会 老年学
 - ③ 釜石薬剤師会在宅医療部会研修会 薬物動態
 - ④ 釜石薬剤師会在宅医療部会研修会 辱創
 - ⑤ 医科薬科連携在宅医療同行訪問 計4回
 - ⑥ 日本在宅薬学会 医科薬科同行研修
 - ⑦ 多職種コミュニケーション研修会
- 2次連携

釜石薬剤師会平成26年度活動内容

【発表】

- ① 日薬学術大会口頭発表 医科薬科在宅医療同行訪問
- ② 第12回釜石・大槌地域健康講座認知症と向き合う暮らし
薬剤師ミニ講和



釜石薬剤師会

釜石薬剤師会平成25年度おくすり相談会事業

薬剤師職能PR

	開催日	開催時間	開催場所	サポート施設	施設担当者	北上担当者	釜石担当者	参加人数
1	4月28日	13時	鶴住居地区サポートセンター	鶴住居地区サポートセンター	石田正子	本内孝典	中田義仁	20名
2	5月14日	14時	小川地区サポートセンター	小川地区サポートセンター	浅野文恵	内舘伸也	金澤英樹	10名
3	5月26日	13時	平田地区サポートセンター	平田地区サポートセンター	上野孝子	若山	中田義仁	16名
4	6月21日	11時	中妻地区生活応援センター	中妻地区生活応援センター	佐々木みゆき	内舘伸也	小笠原修二	11名
5	7月4日	14時30分	上平田ニュータウン集会所	平田地区生活応援センター	堀	内舘伸也	中田義仁	25名
6	7月23日	14時30分	尾崎白浜談話室	平田地区生活応援センター	堀	内舘伸也	中田義仁	9名
7	8月20日	10時	甲子地区生活応援センター	甲子地区生活応援センター	松田	内舘伸也	中田義仁	10名
8	9月3日	13時30分	釜石市保健福祉センター	釜石地区生活応援センター	千葉	内舘伸也	三浦由美	10名
9	10月1日	13時30分	青葉ビル	釜石地区生活応援センター	千葉	内舘伸也	金澤英樹	
10	10月25日	10時30分	橋野ふれあいセンター	栗橋地区生活応援センター	板沢	齊藤明	打越 光	25名
11	11月26日	10時30分	小佐野コミュニティーセンター	小佐野地区生活応援センター	白岩	内舘伸也	中田義仁	
12	11月27日	11時00分	甲子子育てセンター	甲子地区生活応援センター	松田		金野宏美	8名
13	2月5日	13時00分	唐丹地区生活応援センター	唐丹地区生活応援センター	緑川	齊藤明	中田義仁	14名

釜石薬剤師会

釜石薬剤師会平成26年度おくすり相談会事業



薬剤師職能PR

釜石薬剤師会

チームかまいし広報 & HP紹介

薬剤師職能PR

- 薬局と薬局薬剤師の紹介(広報)
- 在宅医療訪問可能薬局リストの紹介(広報同封とHP)
- 薬局薬剤師在宅訪問PRちらしの紹介(広報同封とHP)



薬剤師の在宅訪問に関する資料

- [チラシ「薬剤師が在宅訪問します！」](#)
- [在宅訪問可能薬局一覧\(釜石・大槌地区\)](#)

クリックするとPDF資料が開きます。【資料提供】釜石薬剤師会

釜石薬剤師会

釜石薬剤師会研修会

日時 平成26年1月28日

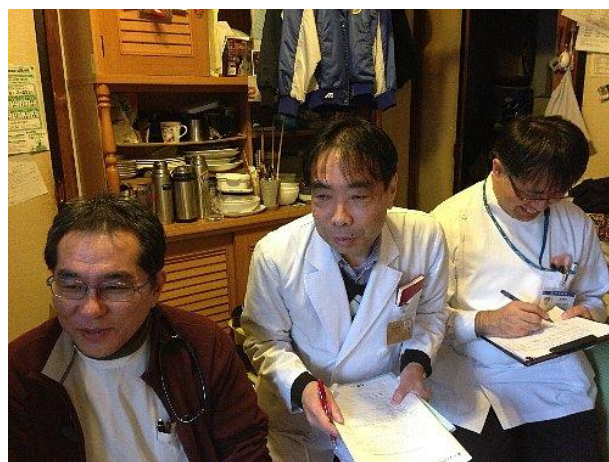
内容 ①チームかまいしの取組み ②病棟業務の薬剤師活動
③在宅医療同行訪問 ④薬局薬剤師の在宅訪問

多職種からも多数の参加を頂き、薬剤師の役割を理解してもらえるよいきっかけとなった。

病院薬剤師-薬局薬剤師連携+2次連携



釜石薬剤師会



2次連携
医科薬科在宅医療同行訪問



釜石薬剤師会



2次連携
ケアマネ薬科合同研修会



釜石薬剤師会

2次連携から発展した連携。 薬科介護福祉連携



地域の医療介護に従事する若者が元気である事が
明るいまちづくりに必要な条件。

医療者・介護者・福祉者のための

ケアカフェ

かまいし



「ケア・カフェ」は、まったく新しいコンセプトで行われる、医療者、介護者、福祉者の集まりです。顔の見える関係づくりと日頃のケアの相談場所を提案していきます。カフェを訪れるように気軽にご参加ください。



ケア・カフェでは、ジャズの流れるカフェのような雰囲気の中で、コーヒーなどを飲みながら4・5人のグループに分かれてテーマに沿った会話をします。席替えをして話を深めます。さらに内容に参加者（お客さん）全員で共有して、いろいろな意見を持ち帰ることを目的としています。最後は、自由に交流する時間も設けています。

【日時】平成26年4月23日（水）

19:00～21:00

【場所】館

【テーマ】たのしみ

【対象者】ケアに携わる方（医療、介護、福祉）

【参加費】100円



【持ち物】

●ネームプレートかネームタグ

仕事場で使われているものでけっこうです

●マグカップなどのコップ

席として割れると悲しいので、2番目に気に入っているものを！

●ペンかマジック

横断紙に書くときに使います。

裏うつりしない細めのマジックなどいろんな色を用意するのもOK♪

●お菓子・スイーツ

話しながらかつまめるものを少量ご持参ください

ケア・カフェのモットーは
「相互扶助」です！
ご協力ください



ケアカフェ開催

連携拠点が行政だったことで、平等、公平に連携が発展し、若手従事者が地域の医療介護の質の向上ため生き生きと自主的に活動し始めた。その延長線で生まれた第一弾企画は「ケアカフェかまいし」。

はじめに

災害時の支援活動を迅速かつ円滑に行うため

職能団体単位の連携システム構築に対応するため



『釜石リハ士会』 平成25年7月設立

その経緯と効果についてお話します

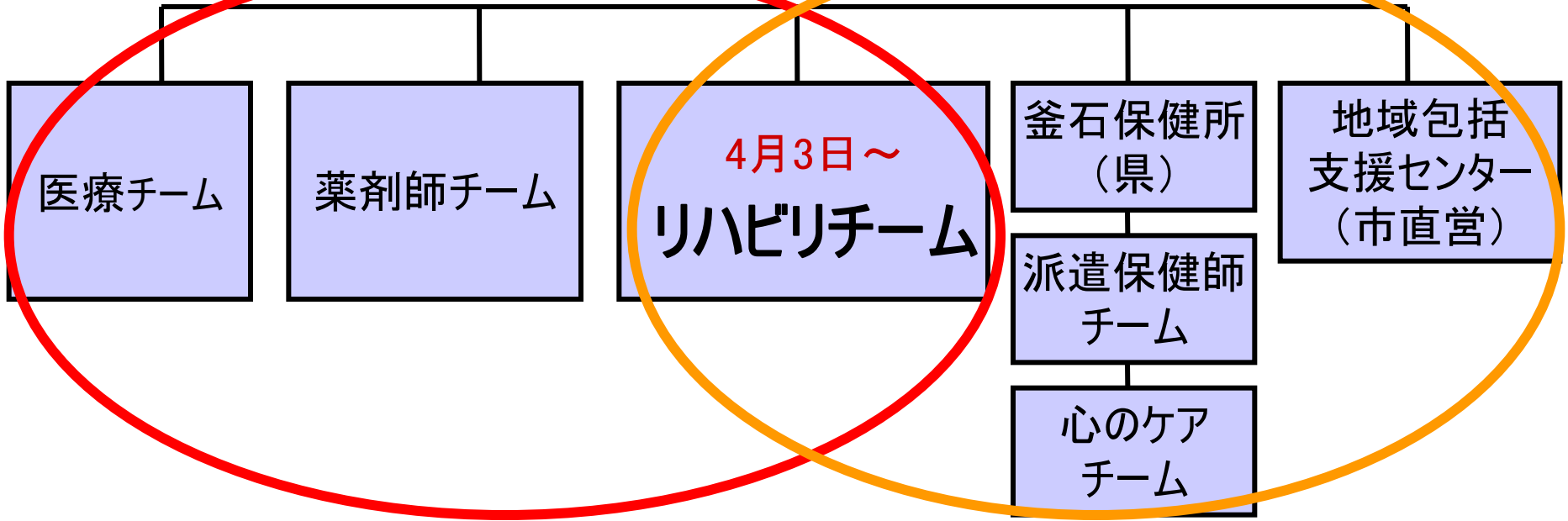
釜石市災害対策本部 保健医療班 組織図

(平成23年3月15日結成)



医療班

保健班





医療班本部ミーティング（毎日夕方）



保健所ミーティング（毎朝）



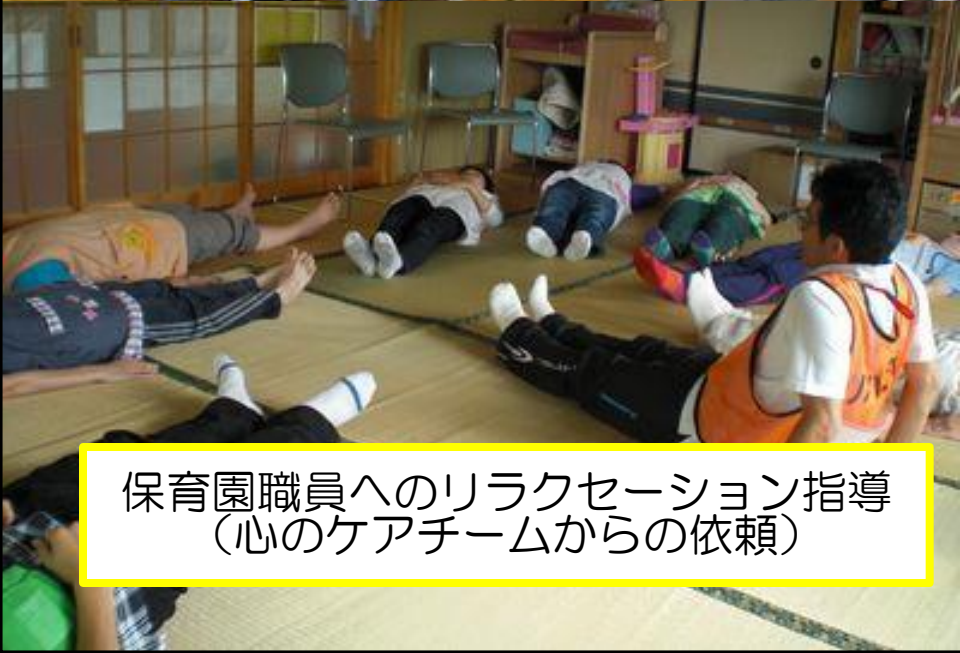
市地域包括ミーティング（週末）



避難所（T公民館）



避難所での個別訓練



保育園職員へのリラクゼーション指導
（心のケアチームからの依頼）



避難所での車椅子修理

釜石リハ士会発足以前（在宅医療連携体制検討会議にて）



在宅医療連携拠点
チームかまいしの
基本的方針

職能団体単位の
連携構築
(公平中立)

一次連携

釜石リハ士会設立のきっかけは、
チームかまいしの助言



釜石リハ士会の成り立ち（平成25年7月発足）

岩手県リハビリテーション支援センター

釜石地域リハビリテーション広域支援センターの専門部会として発足

正式名称：「釜石リハビリテーション療法士会」

略 称：「釜石リハ士会」

会員資格

釜石圏域の病院・施設に勤務
するPT・OT・ST全員
計41名

役員構成

- ◆会 長：PT
- ◆副会長：PT、OT
- ◆事務局：OT、ST

釜石リハ士会 3つの活動方針

大規模災害時に
初動対応

地域包括ケア
の連携機関の
一部門

研修会企画や
介護施設への
講師派遣

設立後の活動実績（市・町と協働、まちづくりのお手伝い）

多職種対象研修会
（市と共催）



介護予防教室（町事業）



家族介護教室
（在介センター事業）



復興住宅の住宅改修（町事業）



釜石リハ士会設立後、在宅医療連携体制検討会議にて



釜石医師会

釜石
歯科医師会

釜石薬剤師会

釜石ケアマネ
連絡協議会

釜石リハ士会

釜石リハ士会発足後、薬科⇄リハ連携の事例 (ケアマネを介し薬剤師に訪問指導依頼)



調剤薬局
薬剤師

- ◆ 60歳代女性、膠原病
- ◆ 錠剤の取り出し困難
- ◆ 軽度嚥下障害

ケアマネジャー

薬剤師



処方医へ連絡

前



後



- ◆一包化
- ◆剤形変更
(散剤⇒錠剤)
- ◆服用方法の指導

釜石市



釜石医師会

地域医療を守る!!
地域包括ケアの推進

チームかまいしの連携手法

- ◆ 職能団体単位での公平な連携
- ◆ 階層構造でコーディネート（一次～三次連携）

薬科の気付き

- ◆ 薬局から外へ
- ◆ 医師負担軽減
- ◆ 行政とまちづくり

リハの気付き

- ◆ 釜石リハ士会設立
- ◆ 公的な連携を経験
- ◆ 行政とまちづくり